

令和元年度環境問題研究事業報告書が完成

～全管連青年部ホームページ(<http://www.zenkanrenjr.jp>)に掲載～

全管連青年部協議会の創立から続いている事業で、今回で21回目を迎えた本事業は、今月号1面の日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞した事業で、今年度は13単組からの応募があり、様々な活動のご報告をいただき、誠にありがとうございました。

また今回も、幅広い解釈のもと水源地のみならず、自由に「水」にまつわるすべてのエコ倶楽部探検隊活動を募集致しました。全国各地の青年部の皆さまには、積極的に問う事業を実施していただきましたこと、心より感謝申し上げます。

「水」はかけがえのない大切な資源であり、人類にとって

貴重な財産であるということ再認識し、また次世代に伝えていくことで、「水」への感謝の心を育むことができると考えております。さらに、この活動が地域に密着した環境活動へと繋がることも期待します。

この活動を通して、「水」に対して興味を持った子供たちが、将来業界を支える人材へと成長していくことは、まさに「担い手事業」の一環でもと考えます。

今後もこの事業をさらに魅力あるものにし、業界底上げの一助となるよう、引き続きのご協力を宜しくお願いいたします。



高松市上下水道工業協同組合青年部会



秋田管工業協同組合青年部協議会



新潟市管工業協同組合青年部



川崎市
管工業協同組合青年部会



長崎市
管工業協同組合青年部



東京都管工業協同組合青年部長協議会

新元号令和となり、我々青年部も新体制となってから間もなく一年となります。新型コロナウイルスの影響で自粛することもあります、会員全員で乗り越え素晴らしい活動を続けて行きましょう。

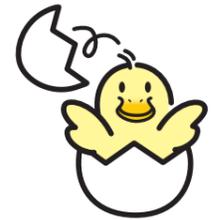
編集
後記

総務部会長 林 誠(熊本)

全管連青年部協議会

アヒルのたまご

<http://www.zenkanrenjr.jp>



令和2年
(2020)
5月15日
金曜日

No 68

第22回日本水大賞 ～厚生労働大臣賞 受賞～

第22回日本水大賞の厚生労働大臣賞に全管連青年部協議会の活動「水源地クリーンキャンペーン・エコ倶楽部探検隊」が選ばれました。

全管連青年部協議会は、水環境が悪化しているとの問題意識を持ち、水に関連したボランティア活動を展開しており、今回受賞した活動は、近年、使われなくなった水田で稲作を再開することで地下水涵養を行い、水源地・河川の清掃、水源涵養林の整備、公共施設の漏水修理による節水の取り組み等で、水の大切さを支えているという意識を持ち長年にわたりボランティア活動として全国的に取り組みを積極的に継続してきた点が評価されました。

日本水大賞の詳細については、日本河川協会のHPをご覧ください。<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

第22回日本水大賞 厚生労働大臣賞受賞にあたって

この度、第22回日本水大賞の厚生労働大臣賞を受賞させていただきました感謝と御礼を申し上げます。

我々、全管連青年部協議会は、毎年水源地をきれいに清掃キャンペーンを行っており、平成17年には諸先輩方のご尽力により同賞の審査部会特別賞を受賞いたしました。昨年度からはキャンペーン活動を水にまつわるボランティア活動全てに広げ、全国の各組合青年部で活動を展開しております。今回は水源涵養の整備、稲作による地下水涵養といった活動も行い、このような形で評価していただき、栄えある賞を賜りましたことはこの上な



使われなくなった水田を借りて稲作

令和2年3月



第22回日本水大賞

全国管工業協同組合連合会青年部協議会 殿

日本水大賞委員会
委員長 毛利 博

第22回日本水大賞 ご受賞について (お知らせ)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたびは、第22回日本水大賞にご応募いただき、誠にありがとうございました。
さて、ご応募いただいた活動につきまして、日本水大賞委員会では厳正なる審査の結果、次のおり受賞が決定いたしましたので、お知らせいたします。

活動名称 : 水源地クリーンキャンペーン・エコクラブ探検隊
賞の名称 : 厚生労働大臣賞 (賞状・副賞 50万円)

つきましては、表彰式・受賞活動発表会を以下の日程で開催いたします。

表彰式 : 令和2年6月23日(火)
日本科学未来館 (東京都江東区)

ご多忙のところ、誠に恐縮でございますが、貴殿の活動を広く皆さまにお知らせいただきたく、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

日本水大賞委員会事務局
公益社団法人日本河川協会
専務理事 大西 亘
担当 上田 伸也
E-mail : s-ueda@japanriver.or.jp
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-5
TEL 03-3238-0771 FAX 03-3288-2426



公益社団法人 日本河川協会

い喜びであります。

我々全管連青年部一同は、今回の栄誉を励みに、更なる実績を積み重ねて、今後も水に関わる活動、それに限らず災害復旧ボランティア活動、そして我々の仕事は地域に密着していることもありますので、全国各地域で会員だけでなく一般の方も参加できるようなキャンペーン、そして自分たちの仕事、水を守ることに誇りを持ち日々の仕事に繋げていけるような充実した活動を展開して参りたいと存じます。

この度は、誠にありがとうございました。

全国管工業協同組合連合会青年部協議会
会長 太田 勝晶

令和元年台風19号による被災地支援活動報告 in 福島県いわき市 / in 宮城県丸森町

令和元年 11 月 25 日 月曜日、全管連会青年部による復旧ボランティア活動が福島県いわき市で行われました。この会でのボランティア活動は、熊本地震以来となります。

宮城、栃木、神奈川、埼玉、東京、兵庫から、30 名近くの管工事の仲間達が参加しました。

道路の U 字溝の清掃や、住宅の泥出し、被災した家財の搬出を行いました。

災害からひと月半。復旧作業に伺ったご家庭の奥様の疲れきって元気のない表情に奮起し、みんなで頑張る作業を行いました。キレイに片付き、帰る頃には奥様に少し笑みが戻っていて、ホッとしました。

被災し、復旧できていない方々がまだまだいるようです。たった 1 日ではありますが、少しでも貢献できたのかな？という 1 日でした。

忙しい中、福島県に来てくれた全国の仲間に、そしてそれを全面的にバックアップして下さる、親会、事務局に感謝します。

福島県管工事協同組合連合会 青年部



ボランティア活動の様子(福島県いわき市)

令和 2 年 2 月 20 日 木曜日に全管連青年部と宮管青年部合同による復旧ボランティア活動を宮城県丸森町にて執り行いました。

宮城、神奈川、兵庫、福島、栃木、山形、埼玉、東京と全国から 32 名と多くの青年部の仲間たちが参加しました。

活動した内容としては、床上浸水した家屋の基礎内部に堆砂した土砂を屋外へ排出し、ダンプに手積みし、町指定の捨て場へ運搬排出する事が主な活動でした。

災害から 4 か月以上が経っていましたが、いまだ手つかずの被災した家屋を多く見受けました。

帰り際に地元の世話役である社会福祉協議会の方々に『是非また来て頂きたい!!』と大変感謝されました。

異常気象や大震災などは起こらない事が一番ではありますが、またこの様な甚大な災害が起こった時には、多くの青年部の仲間たちと共に一刻も早く復旧復興活動に勤しみたいと思った活動でした。

この活動に関わった多くの仲間たちに、感謝いたします。

宮城県管工業協同組合青年部連絡協議会
副会長 扇 俊介



ボランティア活動の様子(宮城県丸森町)

第20回全国穴掘り大会 ～福島県連青年部が出場～

第 20 回全国穴掘り大会(千葉県・成田ゆめ牧場)に、福島県管工事協同組合連合会青年部として参加してまいりました。この穴掘り大会は、6 人、30 分でいかに深く穴を掘るかを競います。使用出来るものは、スコップとバケツ、ロープ、昇降用のはしごのみ。

抽選で、掘る場所を選びその場所をひたすら掘るというシンプルなお遊びの大会です。大人から子供までおよそ 300 チーム、1500 人が参加しました。この大会が、ギネスブックに登録されました。

我々、福島県連青年部も今回で 6 回目の出場で、過去最高が 6 位でした。そろそろ結果(表彰台)が欲しいと思いがらの出場でした。

全管連青年部協議会も、中島会長時代過去数回参加しております。参加団体は、建設業界が多く、特に我々管工事業界が多く参加しております。



管工事青年部の集合写真

愛管連青年部協議会、福島県連青年部、いわき市管工事青年部、会津管工事青年部、須賀川管工事青年部、半田市管工事青年部、今治市管工事青年部、本庄市管工事組合、町田相模原水道青年部、そして鋸南町水道課等々手掘りのプロとしてのプライドをかけて戦っています。

結果は

優勝 愛管連青年部 2850mm
準優勝 福島県連青年部 2830mm

なんと、管工事青年部で、ワンツーフィニッシュです。管工事業界での上位独占は初のようなので。来年こそは、20mm の屈辱をはらしたいと思えます。

我々青年部が、このように活動できるのも、地元親会の理解と協力があってはじめてできる事だと思えます。このような活動を通してできた、地元の輪、全国の輪を親会の活動に活かしていきたいと思えます。

最後に、過去にこの大会で顔を合わせて共に穴掘りした福島県の故 遠藤雅祐 君
愛知県の故 足立洋一 君
この二人に、今回の勝利を捧げたいと思えます。

福島県管工事協同組合連合会青年部
日下 貴博



福島県連青年部準優勝



アクアセラミックが、
トイレに新世紀を告げる。

100年クリーン

トイレの汚れが、ツルんと落ちる。リング状の黒ずみ、くすみとサヨナラ。新品時のツルツルが、100年つづく。*

* 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合。お掃除ブラシで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。

**GOOD DESIGN AWARD 2016
GOLD AWARD**

LIXIL
Link to Good Living

水のチカラで、ずっと輝く
AQUA CERAMIC

株式会社 LIXIL お客さま相談センター ☎ 0120-179-400 受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00